

「伊達武将隊と行く!はっけん!仙台市博物館」の新シリーズを配信中です!

今回は、奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」の政宗様と当館職員が博物館を飛び出し、博物館周辺を巡る「仙台城石垣編」と、政宗様と当館職員が当館収蔵資料「仙台橋擬宝珠」を紹介する「仙台橋擬宝珠編」の2本です。それぞれどんな発見があったのでしょうか。せんだいTube（YouTube 動画）にてぜひご覧ください。



Event Information

歴ネットイベント

「歴ネットクイズラリー」

期 間 10月5日(土)～12月27日(金)

※地底の森ミュージアムは12月22日(日)までの開催となります。

会 場

(歴ネット施設)

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設、瑞鳳殿、仙台市戦災復興記念館、仙台市縄文の森広場、仙台市歴史民俗資料館、仙台文学館、仙台城見聞館、地底の森ミュージアム、仙台市博物館

問 歴ネット事務局(仙台市博物館) ☎ 022-225-3074

歴ネット各施設のクイズに答えてスタンプを集めるクイズラリーに参加してみませんか!?今回はビンゴ形式です。全ての施設を巡り、パーフェクトを達成すれば「仙台通」になること間違いなしです!

歴ネットとは?

仙台市内にある歴史・文化系ミュージアム9館がつながり活動する「仙台歴史ミュージアムネットワーク」の略称です。

仙台市博物館友の会 令和6年度会員募集中

「仙台市博物館友の会」は、会員の歴史・美術・文化に対する教養を高め、相互の親睦を図りながら博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする会です。

会員になると特別展(各特別展2回まで無料、3回目以降は観覧料の半額)・企画展・常設展をご覧いただけるほか、友の会だよりや博物館のお知らせなどがお手元に届きます。

会費(年額) 普通会員 3,000円/学生会員 2,000円/賛助会員 5,000円

<お申し込み>

郵便振替口座 **02200-6-31272**

仙台市博物館友の会

振替用紙の「払込人住所氏名・通信欄」に**住所・氏名・職業・年齢・電話番号・会員の種別(普通会員・学生会員・賛助会員)及び新規入会希望の旨**をご記入ください。

※仙台市博物館2階ミュージアムショップでも受け付けています。

博物館利用案内(10月～12月)

開館時間 9:00～16:45(入館は16:15まで)

休館日 毎週月曜日(10/14、11/4は開館)、11/5(火)、12/28(土)～31(火)

※駐車場には限りがあります。ご来館の際は公共交通機関のご利用にご協力ください。

<アクセス>

- 仙台市地下鉄東西線ご利用の場合 「国際センター駅」下車、南1出口より徒歩約8分
- るーぶる仙台(仙台市営バス)ご利用の場合 「博物館・国際センター・緑彩館前」下車、徒歩約3分

常設展 観覧料

一般・大学生 460円(360円)
高校生 230円(180円)
小・中学生 110円(90円)

※()は30名以上の団体料金。
※このほか各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。
※特別展観覧料は別に定めます。詳しくは中面の特別展情報をご確認ください。

仙台市 博物館 だより

HAKUBUTSUKAN DAYORI

vol.
214

2024.10月

2024.12月

蓮台の上に立ち、真正面を向く阿弥陀如来の絵像です。全身が金色に輝き、放射状に48条の光明を発しています。このような形式の阿弥陀如来像は浄土真宗独自のもので、本願寺から各地の真宗門徒の道場などに授与されました。東北地方の真宗寺院にも、本願寺から授与された絵像が伝わっています。

表紙の資料

阿弥陀如来絵像
岩手・長善寺蔵 室町時代・15世紀
(縦83.4cm 横38.3cm)



特別展開催期間中(9/10～11/4)、東北各県に伝わった浄土真宗に関わる宝物を展示しています。詳しくは中面の特別展情報をご覧ください。



仙台市博物館 イベントの開催など最新の情報をホームページでお知らせしています。

TEL 022-225-3074 (情報資料センター) FAX 022-225-2558

9:00～16:45 ※休館日を除く
※感染拡大状況等により、イベントが中止等になる場合があります。
※再生紙を使用しています。この印刷物はリサイクルできます。



特別展

親鸞聖人生誕850年 特別展

再開館記念企画
第3弾

親鸞と東北の念仏

— ひろがる信仰の世界 —

会期 9.10 火
11.4 振休月

※会期中に展示替えがあります。

2023年に浄土真宗の開祖・親鸞(1173～1262)の生誕から850年を迎え、また、2024年は親鸞が主著『教行信証(顕浄土真実教行証文類)』を著してから、ちょうど800年となります。親鸞の門弟の中には東北地方へ教えを広げた者がおり、以後の浄土真宗の歴史において、東北の門弟たちは幾度も重要な役割を果たしました。

この展覧会は、浄土真宗各派の本山や東北各県の寺院などに伝わった文化財を通じ、東北における信仰のひろがりについて紹介するものです。貴重な宝物を伝えてきた人々と、その背景にある歴史や文化について知っていただければ幸いです。

会期：令和6年9月10日(火)～11月4日(月・振休)
※休館日：月曜日(9/16・23、10/14、11/4を除く)、
9/17(火)・24(火)
※10/15(火)は開館

観覧料：一般1,600円 高校・大学生1,200円 小・中学生800円
※特別展の観覧券で、常設展もご覧いただけます。
※10名以上の団体各100円引。

担当学芸員の

おすすめポイント

親鸞が自らの教えを集成した著作。全巻そろって伝わる貴重な自筆本。

国宝『教行信証』(坂東本)

親鸞筆 京都・東本願寺蔵
通期展示(冊替あり。掲載場面の展示期間：10/22～11/4)



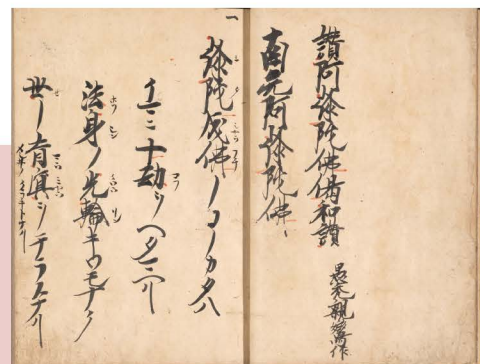
特別展情報ははこちら
各種割引、ご利用方法など、詳しくは特別展「親鸞と東北の念仏」チラシや博物館のホームページをご覧ください。



先徳高僧連坐像

宮城・称念寺蔵
通期展示

法然から親鸞、東北の無為子(無為信)へ伝えられた教えの系譜が画像で示されている。無為子は親鸞の直弟で、会律に教えを広めたといわれている。



国宝『三帖和讃』

親鸞・真仏筆 三重・専修寺蔵 展示期間：10/8～11/4

親鸞の教えを分かりやすい詩歌(讃)としてまとめたもの。親鸞自筆の部分と、直弟の真仏が書写した部分がある。

光明本尊

岩手・本誓寺蔵
通期展示

浄土真宗の教えを視覚的に表した画像。現在の岩手県南部で布教した親鸞の直弟・是信が所持していたものと伝わる。



2024年秋の常設展〈9/25～12/22〉

9月25日(水)～12月22日(日)まで、「2024年秋の常設展」を開催します。この期間限定の実物資料をぜひご覧ください。特集展示室では、11月15日(金)から若林区の歴史を特集した展示が始まります。その他、各展示室のテーマは仙台市博物館ホームページをご覧ください。

収蔵資料
データベースは
こちら



常設展情報は
こちら



常設展示はなぜ
3ヵ月で展示が替わるの？

A 常設展では、各展示室・コーナーごとに実物資料(本物)を展示しています。実物資料は資料保存のため、展示期間を限る必要があり、約3ヵ月(資料によっては、より短い期間)で入れ替えています。

すそが広がっていて
動きやすそう！



担当学芸員ピックアップ資料!!

銀箔押しの
豪華な具足



一見すると無地のようですが、紺地に薄い藍色で小花模様が染められています。豊臣秀吉が、伊達政宗の家臣である片倉重綱に贈った胴服と考えられています。

繊細な染め模様をお楽しみください



(展示期間：10/8～11/10)



(展示期間：11/12～12/15)

重要文化財 小紋染胴服 伝豊臣秀吉所用

桃山時代 館蔵(片倉家資料)

テーマ展示室I (展示期間：11/19～12/22)

重要文化財 銀伊予札白糸威胴丸具足

豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領

桃山時代 館蔵(伊達家寄贈文化財)

テーマ展示室I (展示期間：11/19～12/22)



伊達政宗が拝領した豊臣秀吉の具足です。胸は銀箔押しの札板を白糸で威した華やかなつくりとなっており、兜は熊の毛で包み、当時大変貴重であったヤクの毛の引廻しをつけています。

重要文化財 初子の帯 江戸時代前期 館蔵(伊達家寄贈文化財)

総合展示室ゾーン3 城 (展示期間：9/25-12/15)
※期間中に展示替えがあります。

仙台藩4代藩主伊達綱村の生母、三沢初子の帯です。12本所蔵しており、染めや織りなど、いろいろな方法で模様が表されています。

まーくん・めごちゃんによる博物館紹介

～博物館ギャラリーがリニューアル～

展示エリアとして使用するほか、講座やワークショップなど、さまざまな用途に対応できるスペースです。部屋を分ける仕切りがあるので、同時に2グループの使用も可能です。

ブラインドをあげると四季折々の景色が見られ、開放感のある空間でワークショップなどを楽しむことができます。

広くてのびのび使えそうだね



▲ ギャラリー活用風景



▲ 開放的な室内のようす

窓の外の景色もステキ!

